

## 令和5年度 第3回市民活動サポートセンター運営懇話会 会議概要

令和5年11月16日（木）18:30～20:00

横須賀市立市民活動サポートセンター

出席者	8名…石黒、小串、笥、加藤（杏）、高澤、丸岡、山岸、村野
欠席者	1名…小池
事務局	2名…地域コミュニティ支援課 山岸、里吉
指定管理者	2名…NPO 法人 YMCA コミュニティサポート 沼崎、小澤
傍聴者	0名

- 配布資料
- 1 市民活動サポートセンター例月実績報告・利用者の声
  - 2 夏のボランティア・市民活動体験 2023 報告
  - 3 のたろんフェア 2024 について
  - 4 サポートセンターデータベース登録団体一覧（新規・異動分）
  - 5 サポセンの各種事業紹介資料

### 1 報告事項

#### 1-（1）利用状況、利用者の声について

指定管理者及び市から、資料1-1及び1-2に沿って報告した。

（指定管理者：汐入について）

- ・10月の利用者数が前年同月を下回っているが原因は不明。スタッフ会で検討したが、理由として考えられるものとして、観光等で外に出かける人が多かったのではないかとことや、イベントが活発な時期であるので、外部でイベントを実施していたのではないかとことが挙げられた。
- ・10月は曜日別の利用状況で日曜日の利用が多いという特異な状況があった。
- ・サポセンが空いている曜日や時間について情報誌を使用した情報発信を始めた。
- ・コピー機印刷機の利用も減っている。サービスの在り方についても検討していく必要があると考えるので、ご意見やアイデアなどがあれば伺いたい。
- ・サポートセンターはオープンスペースなので、講座の開催を外部の会議室などの個室を使って開催してはどうかというご意見もいただくが、講座でサポセンに来てもらうことをきっかけにサポセンを知ってもらえるという効果もあるので可能な限りサポセンで実施したい。

（地域コミュニティ支援課：久里浜について）

- ・利用者数については前年比で151人の増。利用団体数も前年比で40団体増。
- ・この結果は4月からコロナの制限を撤廃したことや、5月から5類に移行したことがプラスの方向に影響していると推測。
- ・コピー機は前年比減（-2,990円）。印刷機は前年比増（+5,090円）。
- ・この結果は、コピー機については、サポセン以外にも設置場所が多くあることから利用が分散していることが想定され、印刷機については設置場所が限られていることから利用が増えているのではないかと推測。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・10月の日曜に市内で開催されていたイベントにサポセンの登録団体が多く参加していたのでそれも10月の利用状況減少の要因として考えられるのではないかと。
  - ・レーザーポインターに関する要望についての施設の判断は妥当だと思う。現在ある差し棒で充分だと思う。
  - ・利用者がパソコンを使って行う作業に関するスタッフのサポートについても、施設の判断は妥当だと思う。
  - ・自分の団体の活動においても9月10月は参加者が減っている。原因の究明は難しいと思うので様子を見てもよいのでは。
  - ・利用団体の名前間違いについて、申し出ることは勇気がいること。小さなことでもよいので、その勇気に対して評価できるとよいのではと思った。
- ご意見として参考にさせていただく。(指定管理者)
- ・利用者数の変動については、天候も変動する要因となる。そこと突き合わせて分析してみてもよいと思う。
- ご意見として参考にさせていただく。(指定管理者)
- ・コピー機の利用が少ないのは、近隣に単価の安いコピー機があることから少量印刷では単価の安いコピー機を使用し、大量コピーであればサポセンのコピー機を使用するなど使い分けているという話もある。価格競争にはきりがないので、すみわけを考える必要があると思う。
  - ・コンビニ等にあるコピー機とサポセンにあるコピー機の違いは
- コンビニにあるコピー機は複合機であるため、FAX機能など色々なことができる。ただ、コピーの種類によってはサポセンのコピー機の方が単価の安いものもある。(A3サイズのカラーコピーなど)
- ・コンビニのコピー機は多機能であるが故に使用頻度が高く、落ち着いてコピーができないのでサポセンだと落ち着いてコピーができるという声もきいている。
  - ・コンビニに置いてあるコピー機ではUSBから直接データを出力できるものもある。
  - ・センターのコピー機利用のメリット(カラーA3の価格、ゆっくり作業できる等)をアピールしたらよいと思う。

## 1-(2) 夏のボランティア・市民活動体験 報告について

指定管理者から、資料2に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・参加団体29団体33イベントでコロナ前の水準にほぼ戻った状況。
- ・イベント参加者ボランティア参加者ともに一定の成果を出すことができた。
- ・関連で8月末にサポセンにおいてキッズデイという親子でサポセンに来てもらえるイベントも実施した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・のたろんキッズデイでおもちゃ作りに参加したが、とてもよかった。

## 1- (3) のたろんフェアについて

指定管理者から、資料3に沿って報告した。

(指定管理者)

- ・開催は来年の2月10日と11日。
- ・募集要項は公益のある登録団体には発送済みで、現時点で10団体程の申し込みがあり、12月5日まで応募を受け付けている。
- ・定数を越えたエリアは翌日抽選予定。
- ・昨年度との違いとして館外で飲食販売のブースを設ける予定。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・コロナ前と同等、あるいはそれよりも良くしていきたいと考えている。
- 運営懇話会としてのたろんフェアの開催時には、活動紹介のためのミニ展示を出していた。内容としては懇話会構成員の改選があるときには構成員の募集もかねていた。今年度は展示についてどうするかご意見を伺いたい。(指定管理者)
- ・まだサポセン自体を知らない人もいるので、周知は必要だと思う。
- 懇話会としてのミニ展示は実施する方向で、内容は事務局一任ということでよろしいか(市)
- 異議なし。
- ・フェアのメイン会場はどこになるか。
- サポセン全体がメイン会場となり、奥が主にフリーマーケット、手前が団体の活動展示になる。会場奥まで来場者を誘導するためにフリーマーケットを会場奥に配置している。(指定管理者)

## 2 議題

### 2- (1) サポートセンターデータベース登録団体と公益性の判断について

指定管理者から、資料4に沿って前回以降の新規登録・異動団体について説明した。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・子育て関連の団体の登録削除があり、また一方で子育てに関する新規登録もある。
- 世代交代という印象がある。(指定管理者)
- ・活動をやめてしまう団体はそれまでの活動で得たものを次に伝えていくことができるとよいが
  - ・昔から活動している団体の場合は時代背景が変わり価値観なども変わってきているので難しいのではないかと思う。
  - ・支援内容が継続的なものは行政が担っている。(子育て支援の場合のファミサポなど)
- 歴史のあるグループはノウハウを持っている。分野によっては継承できるものもあるはずなので、サポセンとして課題として認識している。これまでに老舗の団体と新しい団体の交流会などを企画してきたが、新しい団体は自分たちの活動に時間を使っているため交流会に参加する時間がないのか、新しい団体が集まらなかった。
- ・高齢化が理由で登録団体が解散していくというのはもったいないと思う。
  - ・長く続いている団体のノウハウを抽出して小冊子などにまとめるのもよいかもしれない。
  - ・成功事例を記録として残しておくのもよいと思う。
- いただいたご意見は参考にさせていただく。(指定管理者)

### 3 その他

指定管理者から今後実施予定の事業である、「のたろんフェア」の会場図案、「いきいき市民塾」、「講習会」、「ひくてあまた月間」、「のたろんスマイルプロジェクト」等について説明があった。

(懇話会構成員からの質問・意見)

- ・来てもらえるイベントとして選ばれるためには目玉になるものが必要。お客さんを誘導させるような仕組みづくりが必要である。
- のたろんフェアで過去に実施していたスタンプラリーを今回復活させる予定である。(指定管理者)
- ・市内の施設ではジャズの演奏などで人を集めているところもある。
- ・昨年ののたろんフェアでは SNS で情報発信を行っていた
- 今回も発信予定である。(指定管理者)
- ・フードドライブやフードパントリーといったような事業は市などでも行っていないか。
- 市であればほっとかん等でも実施しているが、ほっとかんでは主に貧困家庭の支援を目的としており、サポセンでは貧困家庭の支援もそうだが食品ロスの削減を目的にもしている等様々な側面があってもよいのではないかと思う。(市)
- 寄付できるところ、また、寄付を受け取る場所は市内に多くあればあるほど良いと思う。(指定管理者)
- ・市内の大学ではフードパントリーのイベントを開催していた。のたろんフェアでもコーナーがあるとよい。食品集めのために企業に情報提供と声掛けをしてみてもよい。
- 企業には声を掛けたことがないので検討してみたい。(指定管理者)
- ・食品をもらう側としては、単純にもらうだけだと敷居が高く感じるのではないかと思うが、継続して取り組みを続けてもらいたい。
- ・フードロスへの協力という視点を前面にアピールしてはどうか。
- いただいたご意見は参考にさせていただく。(指定管理者)

#### **連絡事項**

(事務局)

- ・第3回運営懇話会は令和6年2月15日(木)18:30~サポートセンターにて開催予定。

以上